

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成26年 6月27日</p> <p>兵庫県知事 井戸 敏三 殿</p> <p>提出者 住 所 兵庫県小野市小田町1516番地の1 氏 名 一方社油脂工業株式会社 代表取締役 阿部 清孝 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0794-67-1456</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	一方社油脂工業株式会社 小野工場
事業場の所在地	兵庫県小野市小田町1516番地の1
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業・界面活性剤製造業(石けん、合成洗剤を除く)[1643]
②事業の規模	製造品出荷額 77億円(平成25年実績)
③従業員数	112名(平成26年4月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（平成25年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリ及び他の廃棄物について、全社的に排出削減に取り組んでいる。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(今後実施する予定の取組) 全社的な排出削減の取り組みに加え、廃プラ（フレコン等）の有価物化を推進する。
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックを焼却、燃料化、樹脂原料化用に分別している。 更なるリサイクル推進のため、廃油の分別を進めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 自社処理廃液の分別を進め、処理方法の最適化を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物処理に伴う環境負荷の大きい廃液焼却炉を廃止し、処理時の環境負荷の少ない外部業者に処理を委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 自社処理廃液の性質に応じて、外部処理も含めた上で処理方法を見直す。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各種廃棄物の原料化、燃料化を進めている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 各種廃棄物の原料化、燃料化を含め、処理に伴う環境負荷に配慮した廃棄物の処理委託を推進する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

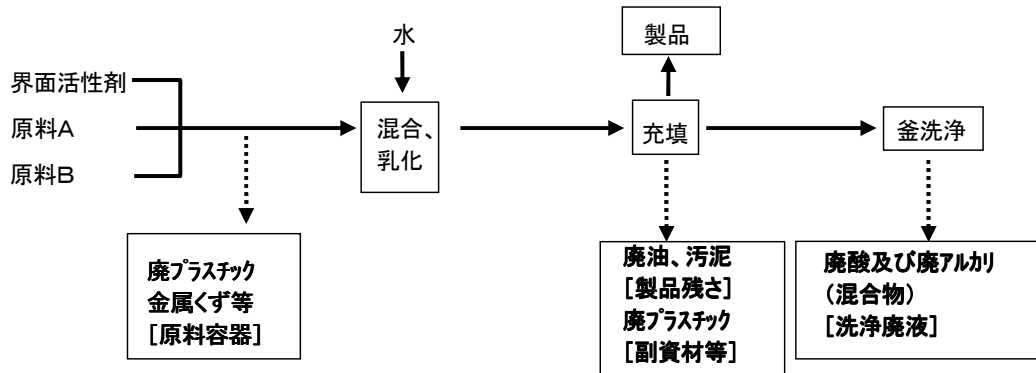
別紙

当該事業場において現に行なっている事業に関する事項

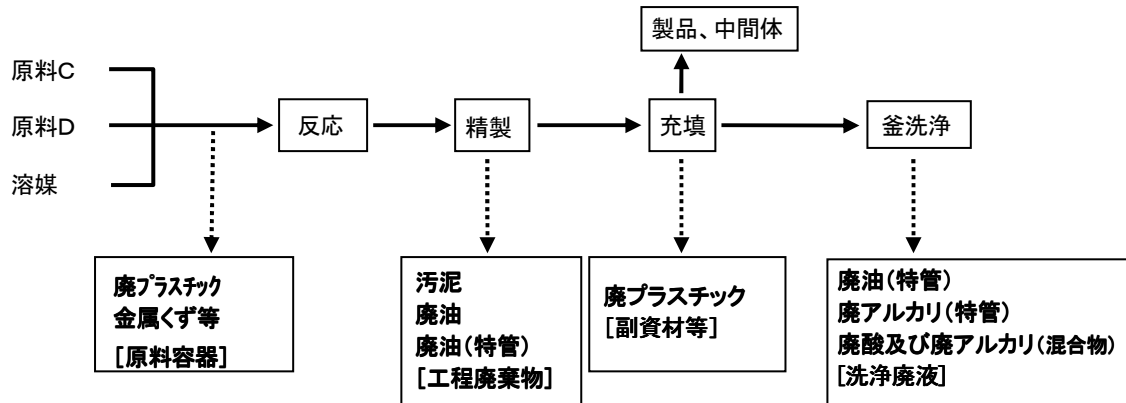
1. 産業廃棄物の一連の処理の工程

1-1. 産業廃棄物の発生フロー

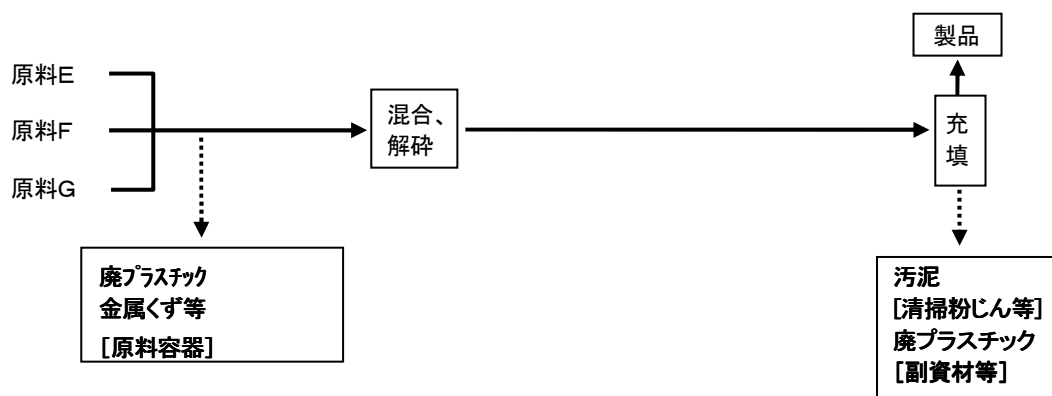
[図1-1] 各種工業用薬剤（混合、乳化系）の製造工程



[図1-2] 各種工業用薬剤（反応系）の製造工程



[図1-3] 各種工業用薬剤（粉体系）の製造工程

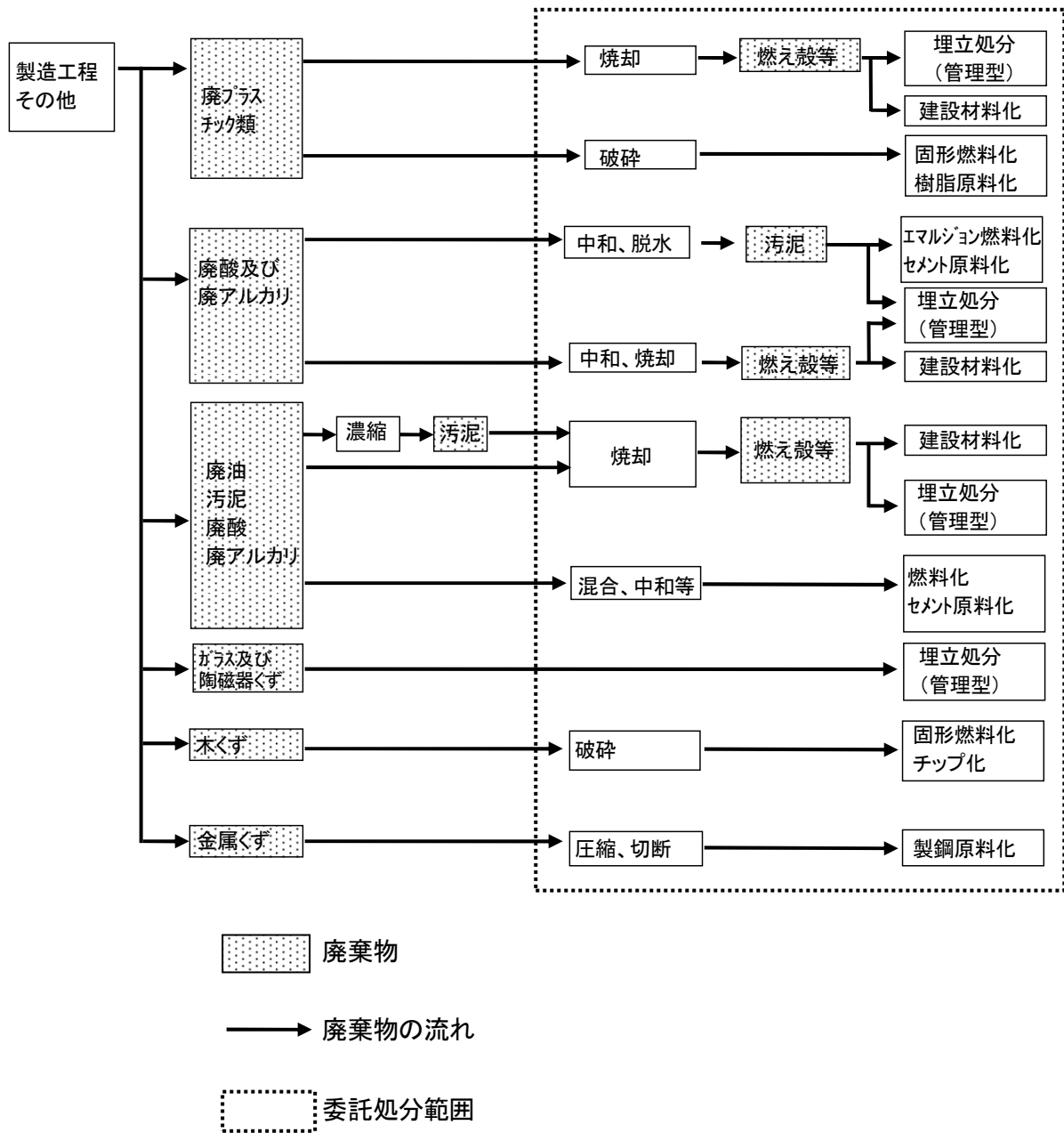


[その他の産業廃棄物の概要]

産業廃棄物の種類	概要
廃酸, 廃アルカリ	冷却水その他設備廃液等
ガラスおよび陶磁器くず	製品開発、検査等で使用したサンプル容器等
木くず	製品や原材料等の運搬に使用したパレット

1-2. 産業廃棄物の処理

[図2] 産業廃棄物の処理フロー

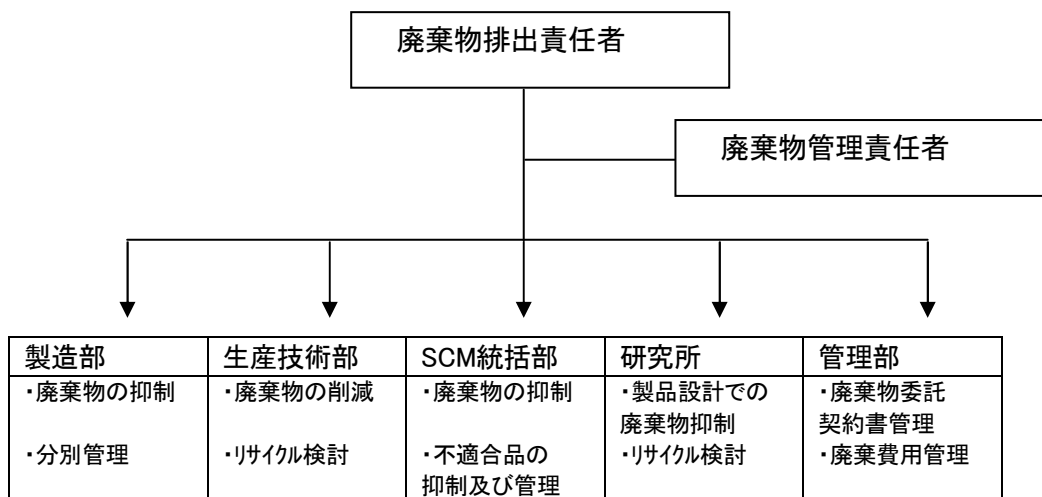


2. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

責任者、管理者の役割

廃棄物排出責任者	廃棄物に関する統括管理 廃棄物処理に関する各事項の決定・承認
廃棄物管理責任者	廃棄物の保管管理 廃棄物の排出状況の把握と改善策の検討 産業廃棄物管理票の交付、管理 処理業者の調査、選定、管理 廃棄物処理計画の立案
各部署責任者	各部署から発生する廃棄物の管理 担当部署の廃棄物削減の施策展開

管理体制図



3-1. 産業廃棄物の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	前年度実績 (t) (平成25年度)	本年度目標 (t) (平成26年度計画)
廃プラスチック類	71	69
ガラス及び陶磁器くず	2	2
廃酸及び廃アルカリ	2,184	2,140
廃油	120	119
汚泥	33	33
廃酸	0	0
廃アルカリ	470	431
金属くず	29	29
木くず	22	20

3-2. 自ら行なう産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	前年度実績 (t) (平成25年度)	本年度目標 (t) (平成26年度計画)
廃プラスチック類	0	0
ガラス及び陶磁器くず	0	0
廃酸及び廃アルカリ	0	0
廃油	0	0
汚泥	0	0
廃酸	0	0
廃アルカリ	0	0
金属くず	0	0
木くず	0	0

3-3. 自ら行なう産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	前年度実績 (t) (平成25年度)	本年度目標 (t) (平成26年度計画)
廃プラスチック類	0	0
ガラス及び陶磁器くず	0	0
廃酸及び廃アルカリ	0	0
廃油	35	17
汚泥	0	0
廃酸	0	0
廃アルカリ	203	235
金属くず	0	0
木くず	0	0

3-4. 自ら行なう産業廃棄物の埋立処分または海洋埋立処分に関する事項

産業廃棄物の種類	前年度実績 (t) (平成25年度)	本年度目標 (t) (平成26年度計画)
廃プラスチック類	0	0
ガラス及び陶磁器くず	0	0
廃酸及び廃アルカリ	0	0
廃油	0	0
汚泥	0	0
廃酸	0	0
廃アルカリ	0	0
金属くず	0	0
木くず	0	0

3-5. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度実績 (平成25年度、単位：t)

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理事業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処分委託量
廃プラスチック類	71	49	9	0	62
ガラス及び陶磁器くず	2	2	0	0	0
廃酸及び廃アルカリ	2,184	2,184	0	0	0
廃油	86	82	16	0	70
汚泥	33	33	24	0	9
廃酸	0	0	0	0	0
廃アルカリ	267	255	12	0	0
金属くず	29	0	29	0	0
木くず	22	22	22	0	0

本年度目標 (平成26年度、単位：t)

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理事業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処分委託量
廃プラスチック類	69	47	7	0	62
ガラス及び陶磁器くず	2	2	0	0	2
廃酸及び廃アルカリ	2,140	1,876	0	0	0
廃油	102	80	16	0	86
汚泥	33	33	24	0	9
廃酸	0	0	0	0	0
廃アルカリ	196	176	20	0	0
金属くず	29	0	29	0	0
木くず	20	20	20	0	0